

リポソーム化ドキシソルピシン ± Bev療法(4週毎)

医薬品名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
ペバシズマブ注	10mg/kg	30分 <sup>*1</sup>	↓														↓														
デキサメタゾン注	6.6mg	30分	↓																												
d-クロルフェニラミン注 <sup>*2</sup>	10mg																														
グラニセトロン注	3mg	30分	↓																												
リポソーム化ドキシソルピシン	40mg/m <sup>2</sup>	2時間	↓																												

\*1: 初回90分、2回目60分、3回目以降30分へ短縮可能

\*2: 緑内障の患者さんには、d-クロルフェニラミン注の代わりにエピナスチンを使用。

■副作用への対応

- 高血圧 ----- 血圧が上昇する可能性があるため家庭血圧を記録する。(ペバシズマブ)
- タンパク尿 ----- 定期的に尿検査を行う。(ペバシズマブ)
- 鼻血 ----- 強く鼻をかんだり触ったりしない。鼻血はほとんどの場合は軽度で、安静にしていれば止まる。(ペバシズマブ)
- 悪心嘔吐、食欲不振 ----- 食事が摂りづらい時は、食べられるもの、好きなものを少しずつでも食べる。水分を摂るようにする。
- 便秘 ----- 点滴後1週間は便が出にくくなることもあるので、排便記録をつける。便秘薬が処方されている場合は使用する。
- 口内炎 ----- 予防のために食後の歯磨き、頻回(8回/日以上)のうがいをする。(リポソーム化ドキシソルピシン)
- 好中球減少 ----- 感染症予防のために、外出後だけでなく自宅で過ごす時も手洗い・うがいを頻回(8回/日以上)に行う。
- 手足症候群 ----- 予防のために保湿剤を1日2回以上塗布。市販のハンドクリームや保湿剤で可。(リポソーム化ドキシソルピシン)
- 脱毛 ----- 点滴後、早ければ2週間程度で髪の毛が抜け始める。帽子やウィッグを利用する。